

- 生活支援
- 見守り
- 協議体
- 買物支援
- 配達
- その他
- 移動支援
- 居場所づくり

24 「地域の中でつながり、支え合う斧刈」（斧刈地区コミュニティ協議会）



薩摩川内市高齢・介護福祉課

地域の概要



薩摩川内市の中北部（東郷地域）、川内川下流域に位置している。字域の北方には東郷町鳥丸、南方には楠元町、白浜町、東方には東郷町南瀬、山田、西方には田海町がそれぞれ接している。人口は3,319人、世帯数は1,480世帯、高齢化率32.5%、面積は15.23平方キロメートル。



取組のきっかけ

地域における高齢者人口の増加や、一人暮らしの高齢者の増加に伴い、孤立や見守りといった課題が顕在化してきた。これにより、地域住民やボランティア、コミュニティ福祉部、関係機関が協力して効果的な支援につなげるための情報共有や支え合う体制を構築する必要があった。

取組の目的

- 見守り、生活支援のネットワークづくり
- 地域住民同士の支え合いづくり
- 外出のきっかけづくりと生きがいづくり
- 地域関係者、団体との情報共有



これまでの経緯

年・月	出来事
平成23年3月	斧刈地区地域福祉事業推進にかかわる連絡会を社協事務局内に設置
平成28年10月	斧刈地区高齢者等福祉ネットワーク会議と名称変更し事務局を斧刈地区コミュニティ協議会内に設置
令和6年4月	斧刈地区高齢者等福祉ネットワーク全体会議開催（事業の概要説明、支え合い事業等について）
6月	〃 専門部会開催（支え合い事業について、担当者会議の日程調整について）
7月	〃 地区担当者会議開催（地域の見守り支援者等の情報共有）
7月	〃 地区全体サロン「茶のんけいっが」開催
7月	〃 専門部会開催（外出支援全体サロン実施報告など）
8月	〃 鎮守の杜ベタンク大会開催
令和7年1月	〃 地区全体サロン「茶のんけいっが」開催

活動の概要

斧刈地区コミュニティ協議会が「斧刈地区高齢者等福祉ネットワーク会議」と称し組織化している。誰もが住み慣れた地域で互いに支えあい安心して健やかに暮らし続けることができるよう、地域の中でつながり支えあう活動として、地区を8つのブロックに分け、生活支援、お出かけ支援に取り組んでいる。

今後も、更に地域の人たちが顔の見える関係になり、お互いを見守り、支援が継続的にいけるよう連携を図っていく。

〔活動に関わった人・団体〕

自治会長、民生委員・児童委員、健やか支援アドバイザー、いきいきサロン代表者、高齢者クラブ単位代表者、在宅介護支援センター、村づくり推進員、あすなろ会、社会福祉協議会東郷支所



取組における行政担当者・生活支援コーディネーターとしての役割

〔SCとしての役割〕

- 福祉ネットワーク会議全体会議へ参加し情報共有を行う
- 専門部会へ参加し情報共有を行う
- 地区担当者会議へ参加（自治会単位）し情報提供及び共有
- お出かけ支援行事への参加及び支援
- 有償ボランティアとの連携
- 他地区へ、斧刈の取り組みを紹介

〔行政担当者としての役割〕

- SCとの定期的な情報交換
- つながり発表会での活動周知
- SCの活動フォロー、内容把握
- 自治会ニーズ把握



現時点での到達点（効果・課題など）

〔効果〕

見守りや話し相手など地域の高齢者の孤独防止や生活課題などに地域の人たちが顔の見える関係になり、お互い見守り、つながり、支え合う活動につながっている。

〔課題〕

居場所の1つとして地区全体サロンを行っているが、周知方法を検討していく。また、生活支援においては支援を必要とする人の増加に対応できるように地域の支え合いの輪を広げて行く必要がある。